

泣く!

泣いた理由は、様々。その時の気持ちも、察するに、それぞれ違っています。でも、どの子も気持ちをめいっぱい、出していました。そして、泣き止むまでに、また、それぞれ違ったストーリーがありました。

転んで泣く Cちゃん

立ちあがらず、泣き続ける。はこが粘る。大人に起こしてもらおうとしているのだからかと思わせる。それでも、とうとう自力で立ちあがる。そして、もうひと泣き。



仲よりの友達に自分の作ったお団子と

壊されて泣く Eちゃん。

友達が慌てて「ごめんね、ごめんね。」と言って謝ると、余計に声を張りあげて泣く。しばらく何をやらせても泣き続け。「どうしたらいい?」と聞かれると、「どうしたらいいかわかんない〜」と答える。

友達に積み木を取られて泣く Dちゃん

しばらく、2人でひとつの積み木を持ったまま、押したり引いたり必死の取組。最後に積み木を取られ、仰向けに寝て大きな声を張りあげて泣く。

友達に叩かれて泣く Fちゃん。

ひっくり返って泣く。そして足をバタバタさせて、友達に反撃。声を張りあげて泣きながらの迫力ある反撃。

友達の前で、大泣きすることは、取っ手外聞もなく、自分をさげすんでいる表現です。... 自分の思いを表現する第一歩ですね。泣き止んだ後、照れくさいこともあるかもしれません。友達との関わり方も思い切ったものです。

冬だからこそ



防寒のため、上着を着るようになりましたね。

上着を自分ですいすいと脱ぎ着する子もいます。あるいは、自分で どうにか強引に脱いだり着たりしてしまいう子もいます。か、自分で全くやる気のないような子もいますね。

子どもの様子に合わせて(どんなことならできるか、どうすればできるかを判断して)、大人が手助けしなから、子どもが自分でやるよう方向づけています。ちょっとしたことでも、最初は、どんなやり方であっても、「自分でやれた!!」と思えることが大事です。それが、次のやる気につながりますから。子どもが、自分でやるには時間がかかりますか!

各家庭でも努力してやってみてください。毎日の小さな積み重ねが大切なことですから。

そして、冬になれば、子どもに鼻水はつきものです。つまっていると、耳の病気につながったり、口呼吸になつて口の中が乾燥してウイルスに感染しやすくなったりします。鼻は出たら、かむことが、習慣づくようにしたいですね。

なかなかこれが難しく、鼻が出たら自分でふくことができる子は多いのですか。3才の子でも、鼻を「ふんとかむ」ことができない子の方が多いです。

大人が鼻を押さえてやったり、やってみせたりもしなから、鼻が出た毎にかむことをやっていくしかないですね。鼻水の出やすい冬がチャンスです!!

ピアノの伴奏で歌う

散歩の途中、時々ピアノの音が聞こえてくるお宅があります。子どもたちと「いい音だねえ...」と聞いていたのですか。最近、ピアニスト(様々なジャンルで活躍されている)の方だと分かりました。早速お約束ができ、ご自宅に伺ってきました。初めての場所、初対面の方に、緊張している様子の5人の子どもたち。♪アババマーチ、♪さんぽ、♪とんがりこうこの3曲をピアノで弾いていただき歌いました。

いつも歩みながら、道草しながら大きな声で歌っている子曲なのに、この日はなかなか声が出ない。「とても大人しいね」なんて言われた5人でした。

ところが後で、「今日、ピアノおもしろかった」とEちゃん。Hちゃんはお迎えのママにピアノの報告。印象的だったのですか。15分程度でしたが、またどうぞ」と言っていたので、また是非伺いたいと思います。

山田先生の紙芝居

7月以来、久しぶりに山田先生に来ていただきました。山田先生には、9月30日のとんがりこう秋のマーケットにも来ていただいて、紙芝居をやっていただきましたね。

今回は、「/ンタンいたいのとんでけー」「かにむかし」の2つのお話でしたか! 子どもたちの、お話の吸い込まれるような集中度にびっくり!!

特に、「かにむかし」はとれぐらいストーリーを理解できたかは疑問ですが、何だろう? 次はどうなるだろう? という分かるという気持ちが伝わってくる真剣な表情、態度が印象的でした。

/ンタンのお話は、子どもたちにとって身近な内容なので、ストーリーに対して思わずつぶやいたりもしなから楽しんでいました。